

柔道&スポーツ大好き親子と指導者のための情報マガジン

スポーツひのまるキッズ®通信



東京五輪応援企画

お父さんに聞いた!
素根輝選手が
代表になるまで!



特集

世界の柔道キッズ【南米編】



バスケットボールは
U-12大会を新設!

ソフトテニス
は木更津大会を初開催!



東北復興応援プロジェクト
親子夏合宿 in 宮城2019



Touch the Big Dream!

子どもたちに大きな夢を。

熱い想いとまなざしで、スポーツを応援しています。

まっすぐな夢のそばに、ミキハウス。

mikiHOUSE

It's all for you.

mikihouse.co.jp

スポーツひのまるキッズ通信

東京五輪2020 ガンバレ! 日本代表

東京五輪
応援企画



2月27日に発表された日本代表内定選手。前列左から芳田司選手、阿部詩選手、渡名喜風南選手、高藤直寿選手、大野将平選手、永瀬貴規選手、後列左から濱田尚里選手、新井千鶴選手、田代未来選手、向翔一郎選手、ウルフアロン選手、原沢久喜選手



昨年の東京世界選手権大会で優勝した素根輝選手は、11月24日にグランドスラム大阪で優勝し、ほかの選手よりひと足早く、内定を決めました。写真は、グランドスラム大阪で全日本柔道連盟の吉岡剛副会長からの祝福を受ける素根選手

ひのまるキッズ通信 Vol.09の締切直前に入ってきた「東京オリンピック1年延期」のニュース。延期が決まっても、代表選手を応援する気持ちは変わりませんので【東京五輪応援企画】は続行! というわけで今回は、スポーツひのまるキッズに出場していた選手で、五輪内定第一号となった素根輝選手を、ひのまるキッズ流にクローズアップしました。

スポーツひのまるキッズ出場選手 オリンピック代表第一号

素根輝

SONE Akira

お父さんに聞いた—— 素根輝選手が 東京五輪代表に なるまで

東京五輪の柔道日本代表内定選手第一号となった素根輝選手は、小学3年生からスポーツひのまるキッズ小学生大会の『常連選手』で、地元・福岡での九州大会のみならず、中国、四国、近畿大会にも出場してくれました。そして、出場した大会はすべて優勝、大会MVPに輝いたこともありました。現在19歳、昨年の東京世界選手権大会では世界チャンピオンになり、東京五輪でも金メダルが期待されている素根選手ですが、小学生時代はどんな子供だったのか。父・行雄さんに話をうかがいました。

(取材◎2020年1月27日)



「輝(あきら)が柔道を始めたのは7歳の時です。私も柔道をやっていたので、カラダが強くなってほしいというのと、精神も養ってほしいということで、地元の脩柔館という道場で始めました。輝には兄が3人いるんですが、長男が4年生の時に柔道を始めて、そのあと双子の兄弟も始め、輝もやりたいということで始めました。

輝は小さい頃から、同学年の子に比べて身長も高いし体も大きくて、最初から強かったですよ。試合でも初めての時は負けましたけど、その後は全然負けなかったですね」

小さい頃から負けず嫌いだったという輝さん。2つ上のお兄さんであっても、練習でもトレーニングでも負

けると泣いて悔しがりながら、お兄さんたちと同じメニューをこなしたのだとか。

「しかも、手を抜くことがないんですよ。いつもまじめに、コツコツとよくやっていました」(行雄さん)

父・行雄さんの職場に50畳の畳を敷いて自前の道場を作り、兄弟4人と行雄さんとで、毎日、そこでトレーニング。道場(脩柔館)での練習は週3～4日。道場がある日は道場の練習のあとに家に帰ってから1時間半。練習のない日は学校から帰ってきてから1時間～2時間はトレーニングを欠かさなかったという。

そこでの練習は、いわゆるサーキットトレーニング。兄弟でおんぶしあつ

て走ったり、カニ歩きをしたり、基礎的な体力づくりだったそうですが、毎日欠かさずやるというのは、大変なこと。そうした弛まぬ努力があったからこそ、素根選手の強靱な足腰は作られたのです。

「将来、オリンピックに出て金メダルをとりたい」という、輝さんの夢は、すでにこの頃には芽生えていたのだそうです。

輝さんがスポーツひのまるキッズ小学生柔道大会に初めて出場したのは、小学校3年生の九州大会。男女混合の無差別に出て見事優勝。決勝は同じ道場の男の子が相手でしたが、輝さんは危なげない試合内容でした。『ひのまるキッズ』の大会は、保護者



小4の時、九州大会で最優秀選手賞に輝いた素根選手。
母・美香さん、父・行雄さんとともに



ひのまるキッズの大会では、九州大会のみならず四国、中国、近畿にも出場しすべて優勝！

にも一緒に入場していただき、最前列で見ていただくのですが、これについて行雄さんは、「そんな大会はなかったですから、嬉しかったですね。表彰も一緒にしていただいて、本当にありがたかった。試合後のインタビューは、照れ臭かったですけどね。どうもあいうのは苦手で(笑)」と当時を振り返りながら話してくれました。照れ屋な性格のせいか、以後、表彰台にはお母さん(美香さん)が立つことが多かったようです。素根さん一家は、九州大会だけではなく、中国大会、四国大会、近畿大会にも参加してくださいました。そして、すべての大会で優勝。4年生の九州大会では最優秀選手にも輝きました。

「他県の子と試合ができるのもうれしかったですし、いい刺激になりました。自由に参加できるというのは他の大会ではあまりないですから。あとは、その地方の名物や美味しいものを食べるのも家族の楽しみでした。近畿大会の時は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンにも行きました。普段から柔道ばかりでしたから、小旅行も兼ねて大会に参加できたのはよかったです。輝も『ひのまるキッズ』の大会を楽しみにしていました」

中学はお兄さんたちが通っていた地元・福岡の田主丸中学に進学。中学では2年、3年と全国中学校大会の個人戦連覇(70kg超級)。この頃から全国的にも注目されるようになりました。高校進学にあたっては、やはり全国の強豪校からの誘いがあったのですが、地元愛、家族愛の強い輝さんは迷うことなく南筑高校への進学を選んだそうです。

「正直言うと、私としては、強い練習相手がいて環境が整った強豪高校に行ったほうが輝のためにはいいんじゃないかという迷いもありました。でも、最後は本人の強い意志で南筑にしました」

当時の南筑高校は女子部員も少なく、福岡県でベスト8くらいの、とて

も全国優勝するような学校ではありませんでした。しかし、南筑には、輝さんの強い味方であるお兄さん2人が在学していました。高校進学後は、学校での部活動に加え、お父さん、お兄さんたちと自前の練習場で稽古をし、休みには出稽古に行き、実力をつけていきました。その結果、南筑高校時代に、個人戦では高校選手権やインターハイで優勝、団体戦では大黒柱として活躍し、南筑高校の金鷲旗2連覇の立役者となったのです。

シニアの大会においても、高校2年生の4月の全日本選抜体重別選手権大会で優勝し、日本一になりました。「初めて選抜体重別で優勝した時は、まだ優勝できるなんて思っていなかったで、喜びというよりは、驚きでした(行雄さん)」

翌2019年には、前年の世界チャンピオンの朝比奈沙羅選手を破って大会2連覇。皇后盃でもオール一本勝ちで優勝し、世界選手権の代表になると、日本武道館で開催された東京世界選手権でも、リオデジャネイロ金メダリストのオルティス選手(キューバ)を破って優勝！高校3年生の若さで、見事初出場初優勝の快挙を成し遂げたのです。

「輝は(重量級としては)身体が小さいこともあって、多くの人が声援してくれて。本当に嬉しかったし、ありがたかったです」と行雄さん。とはいえ、その心情は複雑だったそうで、「選抜で優勝してからは、世界選手権で優勝するまで一気に行ったので、プレッシャーがあるんじゃないかと不安はありました。柔道で世界チャンピオンと言っても、普段は普通の女の子ですからね。取材を受けている様子を見ても『大丈夫かな』といまも心配ですよ」と本音を話してくれました。

改めて、輝さんが強くなった理由、秘訣を聞いてみました。

「いやあ、普段は本当に普通の女の子でしたよ。ただ、柔道に関しては小さい頃からストイックで、練習では絶

対に手を抜かないし、妥協しなかったですね。勝負事なので、勝つことに魅力を感じていたのはあると思うんですけど、小さい頃から友達と遊ぶことより柔道の練習を選んでいました。それと、娘の自慢みたいになってしまっていますが、とにかく謙虚です。周りが褒めてくれたり、いいことを言ってくれて、『自分はまだまだ強くない。このままではまだダメだ』と本気で思っていて、とにかく自分に厳しい。その謙虚さが、輝の強さの秘訣だと思いますし、まだまだ強くなってくれると思います」

最後に、東京五輪の日本代表になったことのプレッシャーについて聞いてみました。

「もちろんプレッシャーはあると思います。でも、それよりも、自分の実力はまだまだだから、大会までにもっとやらなければという気持ちのほうが強いのだと思います。」

プレッシャーは私たち親のほうがあるかもしれません。周りの目もあって、身動きが取れないというか、変なことはできないですからね。これは冗談ですけど(笑)」

最後にお父さんから「輝が、将来『ひのまるキッズ』で講師をやりたいと言っていましたよ」と嬉しい一言。いつでも大歓迎です！

代表になったことを喜ぶ反面、代表としての重圧に、不安をのぞかせていたご両親。素根さんご家族と一緒に、我々も、ひのまるキッズファミリーとして、素根輝選手を全力で応援しています！



2019年11月のグランドスラム大阪で、オルティスを破り優勝。
東京五輪の代表が内定した

プロフィール

素根輝(そね・あきら)
2000年7月9日生まれ(19歳)。福岡県久留米市出身。柔道家の父・行雄さんの影響で、兄・勝さん、双子の兄・健誠さんと大誠さんが通っていた脩柔道で7歳から柔道を始める。小6の時に全国小学生学年別45kg超級優勝。全国中学校大会は70kg超級2連覇、世界カデ、世界ジュニア優勝、全国高校選手権など、各カテゴリーの大会で優勝、2017～19年全国日本選抜体重別3連覇、2018～19年皇后盃2連覇。2019年東京世界選手権優勝。2020年東京五輪日本代表内定。スポーツひのまるキッズの大会には、3年生から出場し、九州大会を皮切りに、四国、中国、近畿などで優勝している。

武道用品の総合メーカー

株式会社 **ミツボシ** は

スポーツのまるキッズ®を応援します!



REIGEAR®

\\ REIGEAR WEB SITE! //



www.reigear.com



久慈製の REIGEAR は刺繍糸が選べます

My COLOR My REIGEAR

マイカラー・マイレイギア



※E-Class・Z-Class・N-Class はアクアブルー、フェアリーピンク、アッシュグレイよりお選び頂けます。

お問合せ先のご案内



武道用品の総合メーカー

株式会社 **ミツボシ**

ミツボシ事業本部 TEL 077-535-9136

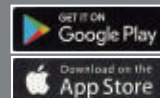
東京ショールーム TEL 03-6280-8551

京都ショールーム TEL 075-754-0121

札幌ショールーム TEL 011-822-7111

お得な情報盛りだくさん!

ミツボシ公式スマートフォンアプリ



ダウンロード
はこちらから

特集

海外のキッズ柔道 ブラジル&コロンビア編

KIDS JUDO in BRAZIL & COLOMBIA

東京五輪
応援企画



BRAZIL



COLOMBIA

東京五輪応援企画第2弾は『海外のキッズ柔道』。今回は南米編ということで、ブラジルとコロンビアをクローズアップしてみました。

ブラジルは4年前にオリンピックが開催された国ですから、テレビや雑誌の特集などを見てどんなところかご存知の方も多いと思いますが、柔道も非常に盛んな国で、柔道人口は約200万人、「世界最大の柔道大国」とも言われています。リオデジャネイロ五輪では女子57kg級でラファエラ・シルバ選手が金メダルを獲ったほか、銀メダルを2人、銅メダルを1人が獲得しました。また、ブラジルのお隣コロンビアは、ブラジルのように柔道が盛んというわけではありませんが、リオデジャネイロ五輪では、女子70kg級のジュリ・アルベアル選手が銀メダルに輝いています。シルバ選手やアルベアル選手は、両国の英雄であり、憧れの的だと言えます。

世界約200か国が国際柔道連盟に加盟し、世界中に広がった柔道ですが、その多くの国で日本人の指導者が柔道を広めるために多大な尽力をしてきました。今回は、長年にわたりブラジルの柔道普及に尽力されてきた関根隆範先生と、コロンビアで指導する早川憲幸先生にお話をお聞きしました。

なお、関根先生はお話をうかがったわずか6日後、帰郷中の日本で急逝されてしまいました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

海外のキッズ柔道【ブラジル編】

柔道人口200万人！ 世界一の柔道大国・ブラジルのキッズ柔道を
ブラジル講道館・関根隆範会長にインタビュー

恵まれない 環境だからこそ 教育としての柔道が 求められている

リオデジャネイロ五輪の女子57kg級で金メダリストに輝いたラファエラ・シルバ選手はじめ、幾多のオリンピックメダリストを輩出してきたブラジル。ブラジルと言えば、サッカーが有名ですが、実は柔道人口200万人という“柔道大国”でもあります。ブラジルにおいて、子供たちはどのような環境で、どのような練習をしているのか、若手柔道家を引率し来日していた関根隆範・ブラジル講道館会長にお話をうかがってみました。（取材は、2019年10月24日、東京において行ないました）



大会で賞品をもらって喜ぶ子供たち。味の素などの日本企業が大会の協賛や柔道衣・畳を寄贈している

関根隆範（せきね・たかのり）

東京都港区赤坂出身。1940年11月16日生まれ（78歳）。1963年、慶應義塾大学卒業後にブラジルに渡り、その後、ニューヨーク在住を経て日本へ帰国。ソニー入社後、ソニー・ブラジル社の立ち上げのため再び渡伯し、十数年後に独立。以後、健康食品製造販売など、いくつかの事業を手掛ける。ブラジル講道館の会長を務めるなど、ブラジルの柔道普及に貢献。近年は、ブラジルの学校教育への柔道導入に尽力していた。温厚な人柄で、ブラジルでも日本でも多くの人に愛されていた。2019年10月30日帰郷中の日本において急逝。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



ブラジル講道館の関根隆範会長

ブラジルの柔道人口は約200万人。日本が約20万人と言われているので、約10倍です。ただ、日本の20万人というのは登録者数であり、ブラジルは登録者ではありませんで、そのままだ比較できる数字ではありませんが、ブラジルにおいて柔道が盛んであることは間違いありません。そして、そのうち約3～4割が子供です。

ブラジルと日本では、生活も文化もまったく違います。日本において常識と思われることも、ブラジルでは常識ではなく、日本でごく普通に行なっている礼儀作法も、ブラジルにおいては決して当たり前のことではありません。いまブラジルは政情も不安定で、そんな状況だからこそ、柔道の『精力善用』『自他共栄』の精神を学ぶべきだと考えている人たちも多いようです。とはいえ、簡単に長い年月で染み付いた考え方、生き方が変わるものではありません。だからこそ、幼少期にそういった習慣をつけさせたいと考え、実際に行動している人たちがいます。

今回、お話をお聞きした関根会長も、その思いを実現させるために行動されている一人。では実際に、ブラジルにおいて、

子供たちはどのように柔道をしているのでしょうか。まずはブラジルの子供たちの生活環境について聞いてみました。

「ブラジルは貧富の格差が大きく、貧民窟と言われる、いわゆる貧しい人たちが住む地域が、ブラジル全土に点在しています。そこでは食事でも十分にできない子供がたくさんいます。お父さんが撃たれて死んでしまったとか、お母さんが捕まり刑務所に入ってしまったとか、そういう子供たちは学校に行くこともできず、泥棒や薬（大麻）を売ったりして小銭を稼ぎ、なんとか生きながらえているのが現実です」（関根会長）

ブラジルで柔道を習うには、いくつかの方法があります。企業が運営しているクラブやアカデミーでやる子もいれば、貧民窟にある道場でやる子もいます。「柔道の練習と言っても、実際には遊びの要素が多いんですよ。日本という『えび』、ブラジルでは『カマロオン』というんですが、そういうトレーニングもやります。そういう遊び的なことを15分～20分やって、その後に受け身、それから軽い打ち込みをして乱取り。子供たちの

場合は、激しくやるわけではなく、遊ばせる程度の軽い乱取りです」

時間はおおよそ1時間で、練習は週に2～3回。子供たちは、必ずお母さんと一緒に、柔道を始める時にももらった柔道衣を持って来るそうです。これは日本の企業などから寄付されたものですが、安くて薄い作りのものだそうです。

「道場に入る時にはきちんと礼をして、履物を揃えて、着替えて、座って、みんなでお話を聞く。そして、練習が終わった後も、柔道衣をきちんと畳み、道場をきれいに、先生に挨拶をして帰る。そういう基本的なことをきちんと教えています。」

ブラジル人は、服をきちんと畳む習慣がありませんから、服の畳み方まで教えてくれる柔道というのは、最初はお母さんたちにとっては驚きというか、異文化だったと思います。でも、子供たちが驚くくらいにきちんとやっているの、そういうところから、お母さんたちだけでなく市役所の人たちや多くの人から『柔道は素晴らしい教育だ』と言われるようになってきました。



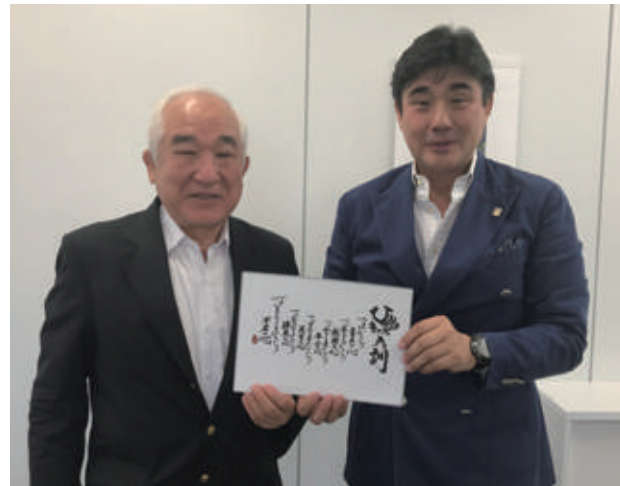
リオデジャネイロ五輪で金メダリストに輝いたラファエラ・シルバ選手はブラジルの子供たちの憧れの的



若手柔道家とともに来日し、国際武道大学などを訪れた



サンパウロ州で行なわれた幼少年柔道学校の稽古の様子



スポーツひのまるキッズ協会永瀬代表理事と関根会長(左)

お父さんたちを呼んで、柔道教室をすることもあります。その時は、子供たちがお父さんに柔道を教えてあげるんですが、そうすると、『まずは礼をするんだよ』とお辞儀をさせて、それからここを持って、こうやって投げると、一生懸命教えるわけです。で、お父さんが転がったら、『受け身！』と言って、ちゃんと受け身も教える。そうすると、お父さんは、自分の子供が一生懸命に教えようとする姿に感動してね。そういうコミュニケーションも素晴らしいと思うんです」

道場の周りはピストルの弾が飛び交うような治安の悪い場所も多いそうですが、柔道の先生たちに対しては「絶対に危険な目に遭わせてはいけない」という裏社会のルールみたいなものがあり、しっかりと守られているそうです。そういった地域の人たちにとっても、柔道を教えてくれる先生は、子供たちに夢や希望をもたらしてくれる特別な人だと考えられているのかもしれない。「親が何をやっているかわからないような子供たちですから、精神的にはすごく不安定なんです。でも、柔道をやって

いる時だけは別世界のことが学べるし、練習に行けば、サンドイッチと飲み物がもらえる。週に2、3度の柔道を子供たちは楽しみにしているわけです。お母さんたちから『柔道をやって、この子はすごくいい子になった』という話を聞くこともあり、そういう時は本当に嬉しいですね」と関根会長。

「リオ五輪金メダリストのラファエラ・シルバ選手も貧民街の出身ですよ。メダルを獲るとお金が入って、連盟からも支援されるようになり、家族も途端に裕福になるわけです。でも、ケガをしたり、勝てなくなると、それも一気になくなりますから、その怖さもついてくる。精神的な重圧は相当あると思います。でも、ご飯も食べられない、着るものもないという生活から脱出するために、強くなりたいと思っている子はたくさんいて、その子たちにとっては目標であり、憧れの存在であることは間違いありません」

関根会長がブラジルの若手柔道家(選手)を日本に連れてきた際に、選手たちは「違う国ではなく、違う星(ブラネット)

に來たみたいだ。日本は街も人もクリーンできちんとしている。こんな社会があるのか」と衝撃を受けていたそうで、その時に関根会長は、もっと小さい子たち、また貧民街に住むような子供たちにも知ってほしいと心から思ったそうです。

2016年には日本政府とブラジル政府で、学校柔道導入に関する覚書を交わし、学校教育におけるプログラム化も進みつつあります。柔道の『精力善用』『自他共栄』の精神を持った子供たちが増えることで、ブラジルはもっといい国になると考える人は、着実に増えているようです。

NOTE

ブラジル
正式名称：ブラジル連邦共和国
首都：ブラジリア
最大の都市：サンパウロ
面積：852万km²(38万km²の日本の約23倍)
人口：2億768万人
南米大陸最大の面積を持つ国であり、面積は世界5位

海外のキッズ柔道【コロンビア編】

柔道をやっているのは、大人も合わせて5000人くらい。
畳や柔道衣はもちろん、指導者もないコロンビア

柔道を教育として 教えてはいない。 まずは「柔道は楽しい」と 感じてもらうところから

海外で柔道を教えたいという思いから、消防士を辞め、28歳の時にコロンビアに渡った早川憲幸さん。ナショナルコーチに就任早々の2009年、ロッテルダム世界選手権でいきなり教え子のジュリ・アルベアルがコロンビア初の世界チャンピオンに輝き、その後も2度の世界選手権優勝、オリンピックでも2度メダルを獲得している。トップ選手を指導する傍ら、ジュニアの育成など、コロンビア柔道の普及・発展にも力を注いでいる早川さんにコロンビアのキッズ柔道事情をうかがいました。

世界選手権で3度優勝し、リオデジャネイロ五輪銀メダリストのジュリ・アルベアル後列ブルー柔道衣の選手は子供たちの目標となっている



将来のオリンピック選手を目指して練習をする子供たち

ブラジルに隣接するコロンビアですが、南米大陸でもっとも大きなブラジルと、コロンビアとは国土の大きさ、人口の多さもまったく異なりますが、柔道人口にも大差があり、コロンビアにおける柔道の歴史、柔道の普及度、柔道を取り巻く環境に大きな差があります。

コロンビアという国は、正直に言って、柔道においては後進国。かつては有力選手と言われるような選手は皆無でした。それが、女子70kg級のジュリ・アルベアルという選手が登場し、2007年の北京オリンピックで7位入賞、そして2009年のロッテルダム世界選手権では見事優勝を果たし、コロンビア初の世界チャンピオンとなり、コロンビアの人たちに柔道という競技を知ってもらうきっかけになりました。とはいえ、コロンビア人にとって柔道は未知のスポーツ。柔道を教えている道場もなければ、指導者もほとんどいませんでしたから、急激に広まるようなことはありませんでした。

早川さんがコロンビアのナショナルコーチに就任したのは2009年、28歳の時でした。それまでは地元・埼玉県で消防士

をやっていましたが、明治大学の先輩であり、当時、プエルトリコのコーチだった富田弘美さんから、コロンビアのコーチを打診され、以前から興味のあった海外での柔道指導をやってみようと思ったのです。言葉もわからない、見知らぬ土地に行くことへの不安はまったくなかったそうで、その理由はいってシンプル。「自分、柔道が大好きなんで、柔道ができるのであればどこへ行っても大丈夫だと思ってたんです」と笑顔で答えてくれました。

ナショナルコーチとして赴任したのは、コロンビアのカリ市という、コロンビアでは3番目に大きな都市でした。そこには市が経営しているスタジアムに100畳の畳を敷いた道場があり、練習はそこで行なっているそうです。

早川さんがコーチに就任したのは北京五輪の翌年。ナショナルチームと言っても、実際に世界レベルで活躍できているのはアルベアル選手だけでした。指導者もないような状況でそれだけの成績を残していたアルベアル選手の才能に驚いた早川コーチは、短期間ながらアルベ

アル選手の得意な双手刈や朽木倒などの技を生かす戦術を練習させて世界選手権に臨むと、あれよあれよという間に勝ち上がり、優勝してしまったのです。

「ジュリは14歳くらいから柔道を始めて、私が見始めたのが23歳の時。前年の北京五輪では7位でしたが、当時の実力としては南米の大会でベスト8かよくて3位くらいでした。でも、ちゃんとした指導者もいないなかで、そこまでの成績を上げていたわけですから、その才能は素晴らしい。なにより、コロンビア人は基本的にあまり真面目ではなくて、練習なんかもさぼったり、遅れてくるのが当たり前なのですが、ジュリは練習を休むことはなかったですし、遅れるようなこともなかった。貪欲にいろんな技術を吸収しようとする姿勢が他の選手とはまったく違っていました」

そのアルベアル選手が2009年の世界選手権で優勝すると、国の対応にも少し変化が見られ、柔道という競技に対しても、少し興味を持たれるようになってきたそうですが、それでも、それによって劇的に知名度が上がるようなことはなか



柔道衣のない子は帯だけ締めて練習



早川憲幸（はやかわのりゆき）
1981年3月20日生まれ（39歳）。埼玉県出身。埼玉栄高校→明治大学。現役引退後は消防士をしていたが、海外での指導を志し、大学の先輩で、当時ブルトリコで指導していた富田弘美氏の紹介でコロンビアのナショナルコーチに。コーチに就任した2009年のロッテルダム世界選手権で、教え子であるジュリアン・アルベアルがコロンビア初の世界チャンピオンになると、以後11年にわたりナショナルコーチとして、シニアのみならずジュニアの指導にも尽力。コロンビアの柔道普及発展に力を注いでいる。



コロンビアで指導する早川憲幸先生

ったそうです。

コロンビアで人気のあるスポーツは、サッカー、インラインスケート、自転車、ウェイトリフティング、陸上など。柔道は知名度も人気もあり高いとは言えませんが、それでも、アルベアル選手が、ロンドン五輪で銅メダル、そしてリオデジャネイロ五輪で銀メダルに輝いたことにより、柔道をやりたいと考える子供たちも少しずつ増えてきているそうです。

現在、コロンビアの柔道人口はおおよそ5000人。コロンビアには33の県がありますが、そのうち柔道連盟があるのは20県くらいで、それぞれの県に200人くらいの選手がいて、全国大会には、それぞれの県から各階級7人くらいの選手が代表として出場します。柔道をやりたいという人がいても、受け皿というか、実際にやれる場所が限られているため、なかなか柔道人口は増えていきません。子供に関しても同じで、指導者がいないので広がっていかないというのが現実のようです。

ナショナルチームのコーチとしてトップ選手を指導しつつ、柔道の普及のため、

子供たちにも柔道を教えているという早川さん。ナショナルチームの選手が練習する体育館以外にも、いろいろなところに行き出張指導を行なっているそうです。量も柔道衣もないようなところでも、なんとか柔道の楽しさを伝えようと、さまざまな工夫をしているのだとか。柔道がすでに広く知れ渡っている隣国ブラジルとは違い、コロンビアでは柔道の知名度を高めることが先決。まずは柔道というものを知ってもらうこと、そして柔道の楽しさを感じてもらえなければ、その先に進むこともできないと、早川さんは、柔道の楽しさを広めることに精力を注いでいるようです。

「柔道は教育だと、教育的な要素を伝えていくことも大切だと思います。でも私が今やっていることは、その前段階。柔道って楽しいな、おもしろいなと思ってもらい、続けたいと思ってもらうことが一番だと思っています。長く続けているうちに、柔道の持っている教育的な要素を少しずつ身に付けていってもらえればいいと思うんです。『精力善用』『自他共栄』の精神をわかってもらうのは、次の段階

だと思っています」

普段、トップ選手たちの練習は月曜から土曜までで、時間は朝6時から7時半までと、昼の12時から2時半までの二部制。子供たちの練習は、そのあと3時半から5時くらいまでやっているそうです。

「練習と言っても、遊びの延長のような内容で、強くなるとか、大会に出るとかはその先のこと。今はとにかくいろいろなバリエーションで子供を楽しませて、子供たちに柔道を好きになってもらうことが一番だと思っています」

コロンビアでのキッズ柔道はまだ始まったばかりのようです。

NOTE

コロンビア
正式名称：コロンビア共和国
首都：ボゴタ
最大の都市：ボゴタ
面積：約114万km²（約38万km²の日本の約3倍）
人口：4,875万人



2020東京五輪に臨む チームジャパンの強い味方 物理療法機器

いよいよ2020年東京オリンピックが目前に迫ってきました。柔道は開会式翌日の7月25日からスタートします。まず個人戦が軽い階級から1日男女それぞれ1階級ずつ、そして最終日には男女混合の団体戦が行われることになっています。おそらく、ほとんどの皆さんが会場でご覧になることはできないと思いますが、観戦できる幸運な方は、ぜひ、声が枯れるほどの熱い声援を選手たち送到ってほしいと思います。

日本代表選手もほぼ確定し(2月末現在、残すのは男子66kg級のみ)、代表選手たちは、ここから大事な時期に入ってきます。

柔道選手たちがオリンピックで期待されるのは金メダル。代表選手たちも当然、金メダルを目標にしています。では、金メダルを獲るには、果たして何が必要でしょうか？多くの選手が『心技体』という言葉の口にしします。『心』と『技』、そして『体』。いずれも一朝一夕で身に付けることができるものではありません。日本代表を争うような世界トップクラスの実力者であれば、技術が高いのは当たり前。ここ一番の精神力も重要です。身体に関して言うのであれば、単に体力というだけでなく、コンディションを最高の状態に持っていくことも大切です。

日本代表の選手たちは、様々な手段・方法を使って、ここ一番の勝負の時に、ベストの状態を作る努力をしています。選手たちにとって、一番の気がかり、不安はケガではないでしょうか。柔道は言うまでもなく、対人スポーツであり、かなり激しいコンタクトを伴います。日頃から身体を鍛え上げているトップ選手であっても、ケガをしてしまうこと

もあります。ケガをしないためにも、そしてケガから一日でも早く回復するためにも、日々のコンディショニングが大切です。そんな選手たちのコンディション調整の強い味方がスポーツトレーナーです。

全日本柔道連盟の強化スタッフは、柔道の技術サポートをするコーチ陣だけではなく、身体づくりをサポートするフィジカルコーチや、栄養のサポートをする管理栄養士、治療やケアをするスポーツトレーナーなど、多くのスタッフがチームとなって、素晴らしい環境を作り上げています。世界選手権やオリンピックでの輝かしいメダルは、選手一人の力ではなく、こうしたたくさんのスタッフの総力で獲得できているわけです。

現在、全日本強化スタッフの一人として、選手のサポートにあたっているスポーツトレーナーの手塚一義さん(グローバルスポーツ医学研究所)にお話を聞いてみました。

「私が全日本柔道の強化スタッフに加わったのは2015年からで、最初はジュニア選手に帯同して世界ジュニア選手権に行ったり、カデやジュニア世代の選手をみていました。シニアの担当になったのは、2016年のリオデジャネイロ五輪後ですね。

私が選手の身体のケアをするのは、国際大会や全日本の合宿の時とかになる

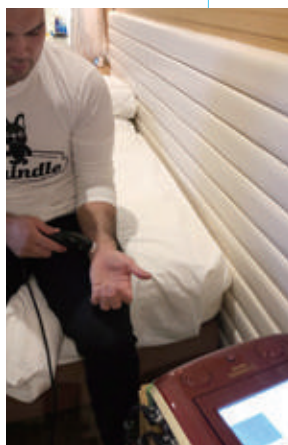
んですが、とくに合宿の時は、できるだけ多くの人数を効率よく治療できるように、練習中から選手に状態を聞いておいたり、物理療法機器を使ったりしています」

最近では、選手自身が使い方を理解し、練習後には自分で超音波治療器やハイボルテージなどの機器を使って治療している選手も多いという。「私自身は、マッサージなどの手技や鍼で治療をするのですが、さきに物理療法をやっておいてもらうと、ほぐれた状態で治療できるので、大変助かっていますし、痛みがある場合や腫れがある場合はマッサージができませんので、そんな時は、本当に役立っています。私自身ももっと物理療法機器の使い方をマスターして、選手たちをベストの状態で試合や練習に送り出せるよう、しっかりケアしたいと思っています」

日本代表選手が注目されるのは当然ですが、選手たちの活躍の陰にはこうした多くのスタッフの尽力があります。柔道日本代表は、まさにチームジャパンで臨んでいるのです。



全日本男子強化チームのトレーナー、手塚一義さん(グローバルスポーツ医学研究所)



海外の強化合宿や国際大会の際も選手たちの強い味方。物理療法機器を使ってケガの治療だけでなく日々のケアも行う



伊藤超短波は あなたの全力をサポートします!

多くのスポーツ団体をサポートしています!

公認スポンサー

- 公益財団法人 全日本柔道連盟

協賛会員

- 一般社団法人 日本トップリーグ連携機構

オフィシャルパートナー

- 公益財団法人 全日本スキー連盟

オフィシャルサプライヤー (競技団体)

- | | | | |
|--------------------|----------------------|------------------------|------------------------|
| ●新体操 日本代表チーム | ●公益財団法人 日本アイスホッケー連盟 | ●公益社団法人 日本ウエイトリフティング協会 | ●一般社団法人 日本車いすテニス協会 |
| ●一般社団法人 日本競輪選手会 | ●一般社団法人 日本ゴールボール協会 | ●公益財団法人 日本自転車競技連盟 | ●一般社団法人 日本障がい者バドミントン連盟 |
| ●公益財団法人 日本セーリング連盟 | ●一般社団法人 日本デフバレーボール協会 | ●公益財団法人 日本バドミントン協会 | ●一般社団法人 日本パラ陸上競技連盟 |
| ●公益財団法人 日本ハンドボール協会 | ●公益社団法人 日本フェンシング協会 | ●公益社団法人 日本ボート協会 | ●公益財団法人 日本陸上競技連盟 |

オフィシャルサプライヤー (チーム・クラブ)

- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------|------------------------|---------------|
| ●株式会社 茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント | ●株式会社 鹿島アントラーズFC | ●スーパーラグビー-日本チーム サンウルブズ | ●シーホース三河 株式会社 |
| ●株式会社 千葉ジェッツふなばし | ●株式会社 新潟アルビレックスランニングクラブ | | |

(50音順)

アスリートのコンディショニングケアをサポートする ポータブル・マイクロカレント「AT-mini Personal」

AT-mini I
Personal

1チャンネル出力



レッド



シルバー

AT-mini II
Personal

2チャンネル出力



ブルー



ゴールド

 **伊藤超短波株式会社** メディカル営業部 <http://www.medical.itolator.co.jp/>

札幌 TEL. 011(820)2830 FAX. 011(842)1562	東京 TEL. 03(3812)1217 FAX. 03(3814)4587	大阪 TEL. 072(242)1043 FAX. 072(242)1040
仙台 TEL. 022(306)7667 FAX. 022(306)7688	横浜 TEL. 045(949)0023 FAX. 045(949)0025	福岡 TEL. 082(292)3330 FAX. 082(292)3331
埼玉 TEL. 048(254)1013 FAX. 048(254)1014	名古屋 TEL. 052(701)4515 FAX. 052(701)6905	福岡 TEL. 092(573)6053 FAX. 092(573)0218

アスリートサポートトレーナーズHINOMARUは スポーツひのまるキッズ を応援しています!



スポーツひのまるキッズ 各大会で 体験ブースを好評展開中!

たかまつはり灸整骨院 くじら館 (2口)
 長山街道はりきゅう整骨院 我手田
 きむらはりきゅう整骨院
 きょういち接骨院
 R S 鍼灸整体院
 フィジカルバランス横須賀 さいとう整骨院
 開成カイロプラクティック SIO
 コスモスはりきゅう整骨院
 鎌倉通り接骨院
 サトウ接骨院
 FENICE-asse palestra-
 ボディケア iyasiro
 木地治療院
 しち整体院 & 志知接骨院
 中央元気堂
 山口スポーツ整体
 酒井 泉孝
 姿勢改善サロンローズメゾン
 奈良 K A E R U 整体院
 OsakaChiropracticOffice 角家整骨院
 アスリートコンディショニングセンター オアシス整骨院
 さくら鍼灸整骨院 心癒庵

Hana * hand
 井高野げんき鍼灸整骨院
 ますもと整骨院
 痛みの窓口 まるめ接骨院
 はり灸整骨院もみの木
 Axis Core Technology
 館 和子
 整体院なかはし
 上村接骨院
 O・T 鍼灸治療院
 はぎや整骨院
 よしだ鍼灸整骨院
 おざき鍼灸整骨院
 fanfeel-oneness ファンフィール
 森原 誠
 こころ施術院
 アスリートサポートトレーナーズ HINOMARU

Axis Power
 Mastery Method
 アクシスパワーマスタリーメソッド



**2019年度は
月バスカップU-12を新設!
約600人が元気なプレーを披露**



2019年度の『スポーツひのまるキッズ』は、
『月バスカップ』でU-15大会に続き、
U-12大会を新設したほか、
『親子ソフトテニス大会』の木更津市大会を開催。
『自転車わっしょい!』では
『親子ママチャリ耐久150』を実施するなど、
新たな挑戦をしてきました。
2020年度もさらなる充実を図るべく頑張ります!



**親子ソフトテニス大会は
神奈川県に続き、
千葉県木更津市でも開催!**



**自転車わっしょい! は
『親子ママチャリ耐久150』
で大興奮!**

U-15(中学生)大会に続き、U-12(小学生)大会を新設!

第1回月刊バスケットボールカップ U-12大会

2019年5月3日(金・祝)~5日(日)
群馬県前橋市
ALSOKぐんま総合スポーツセンター

主催/日本文化出版株式会社、
一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会

日本文化出版株式会社が発行している「月刊バスケットボール」との共催で開催している『月バスカップ』。昨年までは中学生対象のU-15のみで開催していましたが、小学生対象のU-12カテゴリを新設しました。

初のU-12大会には44チーム621名(男子284名、女子337名)がエントリー。ひのまるキッズで最も重要な賞としている『マナー賞』を選手一人ひとりが意識してくれたこともあり、会場

内は大きな声での挨拶や返事が飛び交いました。

特別ゲスト、リオ五輪代表の吉田亜沙美選手によるトークショーでは、憧れの選手を前に緊張気味でしたが、保護者の方からの質問も出たりするなど有意義な時間となりました。

試合だけではなく、親子で一日中楽しめるように、体験コーナー、グッズ販売、遊びなど様々なブースが出展しました。コートですぐ近くに保護

者席を設けることで、選手の表情を間近で見、保護者も一体となって応援し、親子が数多くの瞬間を共有できたのではないかと思います。大会が終わったあと、帰路につく親子の表情がとても和やかなのが印象的でした。

U-15(中学生)大会とはひと味違うU-12(小学生)大会。U-12大会卒業後は、ぜひU-15大会で、成長した姿を見せていただきたいと思います。



緊張気味の和田親子の選手宣誓



練習前もしっかり挨拶



親御さんとのハイタッチで準備万端!



円陣を組んで一致団結!



白熱の試合展開!



仲間ともハイタッチ



試合の前後は必ず礼



保護者も全力で応援!

第4回大会はジャスト1000人がエントリー!

第4回月刊バスケットボールカップ U-15大会

2019年8月18日(日)~20日(火)
群馬県前橋市
ALSOKぐんま総合スポーツセンター

主催/日本文化出版株式会社、
一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会

日本文化出版株式会社が発行している「月刊バスケットボール」との共催で開催している『月刊バスケットボール』は今年が第4回目の開催となりました。大会にはジャスト1,000名!(男子528名、女子472名)がエントリーをし、真夏の群馬が熱気で包まれました。

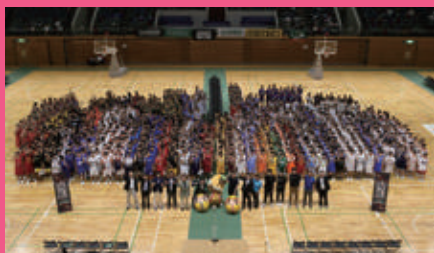
この大会の大きな特徴の一つは、普段観客席で見ている保護者に、コートの上に設置した保護者席に座っていただき、一番近くで臨場感を

味わいながら応援してもらうということ。そして、全国どこからでもクラブチームや中体連など誰でも参加できる大会として、様々なチームの交流機会となっております。

今回初めて、保護者・指導者向けのセミナーを、試合の合間に開催し、成長期の中学生に必要な栄養素や、ケガのことなどを学ぶ機会を提供しました。そのほか飲食ブースやグッズ販売、お土産ブースや体験コーナー

など、参加者をはじめ、保護者の皆さんにも楽しんでいただきました。

恒例のイベントは、U-12大会に続き、元日本代表の吉田亜沙美さんにお越しいただきトークショーを行ないました。質疑応答では、「もっとうまくするにはどうしたらいいのか」など中学生ならではの質問もあり、吉田さんは丁寧に応えていました。イベントの最後にはサイン入りタオル争奪じゃんけん大会もあり、会場は大盛り上がりでした。



64チーム(1,000人)の選手が全国から大集結!



木村親子の堂々とした選手宣誓



躍動感あふれるプレー



特別ゲストによるトークショー



げんき堂整骨院の南山社長による恒例のだるまの目入れ



全員の笑顔溢れる一枚



中学生を持つ保護者や指導者のためのセミナー



保護者にも大人気の整骨院体験ブース

新企画『親子ママチャリ耐久150』で大興奮!

第3回スポーツひのまるキッズ 自転車わっしょい!

2019年11月23日(土・祝)
愛媛県松山市
松山競輪場

主催/スポーツひのまるキッズ自転車わっしょい実行委員会、
一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会

2019年11月23日(土・祝)、愛媛県の松山競輪場で『三原産業 Presents 第3回スポーツひのまるキッズ自転車わっしょい! in 松山競輪場』を開催しました。『自転車わっしょい!』にふさわしい晴天のもと約80組の親子が参加し、多くのボランティアスタッフに支えられながら、元気いっぱい、笑顔あふれる大会となりました。

松山市のNPO法人タンデム自転車NONちゃん倶楽部とともに「育てたい6つの愛」「ひのまるキッズ六訓」の

互いの理念をもとに誰でも参加できる親子の絆を深めるイベントとして実施しました。

第3回目となる今大会では、『親子ママチャリ耐久150』と題し、150分間でバンクを何周できるかを競う耐久レースを実施しました。チームが一丸となって、最後まであきらめずに走り切り、全員が達成感に満ち溢れていました。

レースだけではなく、普段は立ち入ることのできない競技場内のバン

クに上ったり、特設コースに設置したランニングバイクを体験したり、場内でさまざまなゲームコーナーやブースを楽しんだり、さらに、現役の競輪選手による本番さながらのレースを間近でみて、子供たちは大興奮の様子でした。親子でもチームでも皆の笑い声でつつまれた『自転車わっしょい!』。最高に晴れ上がった秋空の下、通常では入ることさえできない競輪場の中で、親子で元気いっぱい楽しむことができた一日でした。



青空のもと約80組の親子が集まりました!



西森親子の元気いっぱいの選手宣誓



子供たちの弾ける笑顔



競輪選手のレースを目の前で観戦



大人も子供も力を合わせて頑張るぞ!



初めて!?のバンク体験



親子ママチャリ耐久では白熱のバトル



バンク周回ごとにお菓子をIN!



親子おそろい?の服ではいチーズ



何やら作戦会議中!?



レースの合間にランニングバイク!



伊藤超短波株式会社による体組成測定は大盛況

親子ソフトテニス大会は神奈川県に続き、千葉県木更津市でも開催!

第3回スポーツひのまるキッズ神奈川県小学生ソフトテニス親子大会

2019年12月1日(日)
神奈川県平塚市
平塚市立軟式庭球場

主催/神奈川県ソフトテニス連盟、
一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会

第1回スポーツひのまるキッズ木更津市小学生ソフトテニス親子大会

2019年12月15日(日)
千葉県木更津市
潮浜公園庭球場

主催/木更津市ソフトテニス連盟、
一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会

「第3回スポーツひのまるキッズ神奈川県小学生ソフトテニス親子大会」は今年も雨天のために延期となり、12月1日(日)の開催となりました。また、12月15日(日)に千葉県木更津市でも「第1回スポーツひのまるキッズ木更津市小学生ソフトテニス親子大会」を行いました。

神奈川県大会では64組、木更津市大会では44組の親子ペアが、日ごろの練習の成果を発揮しました。初め

てペアを組んで行なう試合では、最初はなかなか緊張気味の親子も多く見受けられましたが、プレーを重ねることに笑顔も増え、親と子が声を掛け合いながらプレーする姿が印象的でした。

試合に負け、泣いている子供をお父さんがやさしく抱きしめたり、子供がお母さんにアドバイスをしたり、いたるところで親子の絆が深まっていました。

特別講師の加納亜由美先生(ヨネックス株式会社)と大野勝敏先生(法政大前監督)による研修会では、プレー以外にも挨拶や礼儀などの基本的なところから実践的な練習までご指導いただき、選手だけではなく、保護者にとっても充実した時間になったようです。また、保護者を対象にしたハンドトリートメントブースも出展するなど、試合に負けても一日中楽しめる大会になったのではないのでしょうか。



今年も一度は延期となったが、12月に開催し、64組の親子が集合!



息の合った選手宣誓をした神蔵親子!



木更津市での初めての開催で44組がエントリー!



笑顔でハイタッチ!



子供がお母さんにアドバイス!



講師の先生から丁寧なアドバイス



お互いの息もピッタリ



お父さん渾身のショット!



親子の絆が1番感じられる大会



ハンドトリートメントブースでは癒しのマッサージを提供

恒例の復興応援親子夏合宿 2019年度は宮城で開催!



夏合宿にご参加いただいた約50組の親子と協力してくれた東北高校の学生、父母会の皆さん

2015年よりスタートし、今や夏の恒例行事となっている『Seiko Presents 東北復興応援プロジェクト 柔道親子夏合宿』を、2019年度は宮城県仙台市にて、7月27日(土)、28日(日)の2日間の日程で実施しました。

東日本大震災で特に被害の大きかった沿岸部の道場を中心にお声掛けをし、宮城県と岩手県で交互に実施、毎年約50組の親子にお越しいただいています。

今回の講師は、和歌山県にある柔道学習塾「紀柔館」にて指導をしている腹巻宏一先生と北京五輪57kg級代表でパリ世界選手

権金メダリストの佐藤愛子先生(東京女子体育大学監督)、アスタナ世界選手権銅メダリスト、グランドスラム金メダリストの志々目徹先生(了徳寺大学職員)にお越しいただきました。

ひのまるキッズ夏合宿の目的は“楽しく、ためになる”こと。柔道の稽古だけではなく、洗濯やコーチング、さらに、普段はあまり聞くことのない「浮き指」に関するセミナーなど、親子と一緒に学んでいただく機会を作りました。バーベキューや大抽選会など、充実したレクリエーションもあり、子供たちにとっては、

夏の思い出として記憶に刻まれる楽しい1泊2日になったことと思います。

このプロジェクトの実施にあたりましては、セイコーホールディングス株式会社様ほか、一般社団法人 MAST 支援会様、特定非営利活動法人 MSP チャイルドドリーム基金様、株式会社東邦様、株式会社ミツボン様、株式会社ヤマト様、仙台中央青果卸売株式会社様など、多数の企業にご協力をいただきました。また、東北高校男子柔道部、父母会の皆様にも今回も非常に献身的にご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。



永瀬義規代表から開講挨拶

2年ぶりとなる宮城県での開催。

宮城県、福島県からの参加者を迎え、

開講式が始まりました。

今回ご指導いただく先生方から一言ずつご挨拶いただき、

1泊2日の合宿を楽しむ仲間と握手で仲を深めました。



宮城、福島から約50組の親子が参加くださいました



柔道学習塾「紀柔館」
腹巻宏一先生



北京五輪代表、元世界女王
佐藤愛子先生



世界選手権銅メダリスト
志々目徹先生

柔道教室&乱取で充実の2日間。 みんな『柔道』を楽しみました!



2日間みっちり指導してくださる先生方。
右から腹巻先生、佐藤先生、志々目先生



腹巻先生の柔道教室。
笑顔にあふれていました!



合宿のメインである柔道教室。腹巻先生のダンスを交えた指導から開始。たくさんの技と体捌きを楽しく学びました。

その後、2日間にわたって、先生方からの技術指導。立技も寝技もしっかりと習い、実践するため、たくさん乱取りを行ないました。講師の先生方だけでなく、高校生のお兄さんたちにも向かっていき、習ったばかりの技を次々と仕掛けていました。特に志々目先生の内股には子供たちだけでなく、地道道場の先生方も大注目でした。

夏の暑さに負けない熱い指導に2日間子供たちも一生懸命でした。



佐藤先生も乱取りに参加。
子供たちも果敢にチャレンジ!

先生方が得意技を披露。
みんな真剣に見ていました



稽古後は先生方にいろいろと質問。
志々目先生は大人気でした



最後は心を沈めて『黙想』

夕食会&トークショー!

充実の練習のあとは、お楽しみの夕食会&講師の先生方によるトークショー



カレーバイキングでおなかいっぱい!



柔道講師陣によるスペシャルトークショー



最後は道場ごとに先生方と写真撮影

楽しくってためになる! セミナー&レクリエーション

親子で一緒に!

浮き指セミナー



浮き指のセミナーをしてくださった特定非営利活動法人チャイルドドリーム基金の野山明範先生

直立しているときに足の指が地面から浮いている状態を浮き指といいます。浮き指のままだと地面をつかめない、体幹バランスが崩れるなどスポーツ活動に多くの影響があることやその解決策を親子で体感しながら学びました。



洗濯セミナー

ウタマロ石鹸でおなじみの株式会社東邦様のご協力のもと行なった柔道衣の洗濯セミナー。真っ白できれいな柔道衣をい

つも着ている子供たちは洗濯の大変さ、保護者さんへの感謝の気持ちを学びました。最後にはウタマロ石鹸のプレゼントも!



指導者、保護者向けセミナーも!

コーチングセミナー



保護者の皆様を対象に日本スポーツコーチング協会認定コーチの境修先生に、子供の褒め方、伸ばし方についてレクチャーしていただきました。

道場活性化セミナー



稽古でも講師として指導してくださった腹巻先生に、自身の経験をもとに、2日間にわたり道場の活性化セミナーを行なっていただきました。

キンボール体験!

2018年に続き、今回のレクリエーションはキンボールスポーツ。直径1m以上あるボールを使って、親子で協力しながら楽しく遊びました。オムニキン、ピンク!!



合宿最後は、お楽しみのBBQ

いただきま〜す!!



株式会社ヤマト様からお肉を、仙台中央青果卸売株式会社様からお野菜をご提供いただき、東北高校男子柔道部父母会の皆様のご協力のもと、合宿最後のご飯はバーベキュー! とても美味しいお肉や野菜に、子供たちはもちろん、お父さんお母さんも、笑顔であふれていました!



最後に腹巻先生から子供たちへ



一人ひとりに修了証が手渡されました

ご協賛各社から豪華賞品を提供いただき、大抽選会を開催しました。豪華賞品のほか、全員に贈られた参加賞はオリジナル柔道ノート『絆ノート』とタンブラー。思い出の品となっているように願っています。

最後は、講師の腹巻先生方から参加者一人ひとりに修了証を授与。アツい2日間の夏合宿が終了しました。



ミツボン様からは柔道衣を贈呈!



講師の先生方から合宿限定サイン色紙も!



あたり〜! SEIKO様よりキッズウオッチ(山縣モデル)



東邦様よりウタマロプレゼントBOX。お母さんたちが大喜び!



SEIKO様よりミニタイマークロックが9名に!

ひのまるキッズ

リョウ&ダイチの道場訪問 第2回

の巻

春日柔道クラブ

(東京都文京区)



東京のと真ん中、文京区春日にある柔道の総本山・講道館



嘉納治五郎師範像



今回は「リョウ」こと花川了がレポートします!

柔道の総本山、講道館で練習をしている春日柔道クラブに潜入!

スポーツひのまるキッズのダイチとリョウで全国の道場を訪問するこの企画、今回は2016年リオデジャネイロ五輪で金メダルに輝いたベイカー茉秋選手、この度、2020年東京五輪代表が内定したウルファロン選手、その他にも世界レベルで戦う選手を数多く育て上げ、私・リョウも長年通わせていただいた道場、春日柔道クラブにお邪魔してきました!

スポーツひのまるキッズ柔道大会では関東大会はもちろんのこと、全国7か所の大会に、ほぼ必ずと言っていいほど選手が参加し、大会を盛り上げてくれている春日柔道クラブ。さらにはひのまるキッズで一番重視している賞「マナー賞」を3度も受賞されています。

春日柔道クラブは、柔道の総本山である講道館で少年指導責任者及び、私の恩師でもある向井幹博先生を中心に練習が行なわれています。

実は、元々講道館に『春日柔道クラブ』が存在していたわけではなく、1996年までは講道館少年部として試合は出場せず、道場指導のみが行なわれていたそう。

そんななか対外試合にも出場させたい、たくさんの経験をさせたいという意見もあり、1997年に、決して勝利至上主義に陥らないようにという配慮のもと、「春日柔道クラブ」としての活動が始まりました。

クラブ創設からはまだ歴史の浅い春日柔道クラブですが、全国少年柔道大会では2度の優勝経験があり、また、その他の全国大会でも個人戦、

団体戦で優勝経験があります。毎年全国大会で活躍している春日柔道クラブの強さ、マナーの良さの秘訣を探ってきました!



少年部指導責任者の向井幹博先生



練習前、練習後は必ず座礼で挨拶



練習前は先生も門下生も嘉納師範のお写真に敬意と感謝の気持ちで一礼



練習前には遊びながら楽しくウォーミングアップ



練習前に入念に準備運動!



柔道において一番大切な受身練習も時間をかけて行います

第一印象は礼儀の素晴らしさ。その訳とは!?

さっそく、16時半からの練習に参加させていただくと420畳の7階大道場(8階は900席の見学席)にはすでに子供たちが30名ほどおり、全員がこちらをむいて「こんにちは!」と元気よく挨拶。春日柔道クラブは近くから通っている子もいれば、私のように他県から小学校が終わり次第、電車に乗って練習に向かう子も少なくないため17時頃から人数が増え始めます。

途中から続々と来た子供たちも、たくさんいる指導者の先生一人ひとりに、丁寧に挨拶をし、取材に来た私たちにもしっかりと礼をしてくれて、第一

印象は、礼儀正しい子ばかりだということでした。

それもそのはず、私が春日柔道クラブに通っていた時から先生方には「挨拶、礼儀の大切さ」を耳にタコができるほど(本当の耳のタコは練習でできたものです(笑))教えていただきましたので、いま通っている子供たちも、強くなることよりも礼儀が大切なことと理解しているはずです。

私が春日柔道クラブに所属していた時の夏期講習中に見せていただいたビデオで、アントン・ヘーシンク選手が1964年の東京オリンピックで金

メダルを獲得した際、ガッツポーズをすることもなく、関係者が歓喜のあまり畳に上がろうとしたのを手で制して畳に上がらせず、相手の神永昭夫選手ときちんと礼をしていたことを大人になった今でも覚えています。

子供の頃に教わった礼儀作法は、今の私の記憶にも残っているように、幼少の頃の教育が大切だと思います。柔道を教わるだけでなく、人間教育までしていただいていたのだと、改めてとても素晴らしいと思いましたし感謝しております。



子供たちの練習についていっただけでも必死!



へっちゃらな子供たち!



寝技練習の様子



初心者クラスも充実!



みんなそれぞれ目標を持ち、誰とでも真剣勝負をしていた



リョウも乱取りに参加させていただきました!(投げられているのが私です)

**打ち込みが始まると
みんなの顔が一転!?**
誰とやる時も真剣勝負!



居残り練習もまずは補強運動から!



ダイチも必死に勝負!



楽しい練習となりました(……また投げられた)

練習内容は体操の前に先生も一緒に鬼ごっこ、体操が終わった後は、5人ずつに分かれみっちり補強練習、私も子供の頃のように、子供たちと一緒に前転、後転、アニマル、鰻、馬跳び、股くぐり等々、長さ15mほどある道場をひたすら行き来しましたが、私はあっという間にへろへろ。余裕の笑顔を見せる元気な子供たちの様子を見て運動不足を実感したのでした。

しかし、打ち込みが始まると笑顔だった子供たちの顔は真剣モードになり、そこからはただひたむきに稽古に取り組んでいました。メリハリのある練

習で、回り稽古(※6~10人1組でグループを作り、1人が軸となって他の者が1本ごとに1つずつズレて1周する)が基本の春日柔道クラブ、顔を真っ赤にしながら稽古に励み、経験者の子たちが頑張っている隣では初心者クラスも行なわれており、初心者クラス専属の先生が礼儀や受身を丁寧に教えていました。

少年部指導責任者の向井先生にお話をお聞きすると、現在春日柔道クラブに通っている子供の人数は、週に1回程度通っている子や他道場から通ってくる子も含めると、なんと300人

ほどいるそうです。それに対して、指導者の先生の数には8人と決して多くはありませんが、先生たちが一人ひとりに気を配り、門下生全員の名前をしっかりと憶え、名前と呼んでいることには驚きました。

18時までの練習が終わり、低学年の子供たちはそのままお母さんたちと一緒に帰りますが、高学年の生徒で、もっと練習がしたいという子は自主参加で居残り練習もできます。大道場から1階下の道場へ移動し、文京第一中学校の柔道部と一緒にいられます。

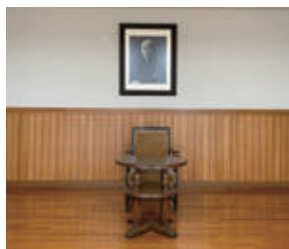


※写真は2019年、嘉納治五郎師範生誕祭の時に集まった門下生の皆さん

子供たち一人ひとりにあった柔道、そして、 勝利至上主義ではなく、 正しく組んで『一本』をとる柔道を



最後までしっかり座礼で終了しました



講道館大道場正面(7階)に置かれた、実際に嘉納師範が座られていた椅子

ところで皆様、講道館では相手と礼をする時は立技、寝技、乱取に関係なく座礼ということをご存知でしょうか。柔道は「礼に始まり礼に終わる」という言葉がありますが、なぜ座礼？と思う方も多いと思います。実は、私も子供の頃からずっと疑問でした。そこで、この機会に向井先生に聞いてみました。

「柔道は殺し合いではありません。いきなりやり合うのではなく、一度座りお互いに精神統一をし、これから相手と対戦するにあたって戦う相手に感謝をする時間、心を落ち着かせる時間なのです」ということでした。なるほど、何ごとにも意味があるんですね。たしかに座礼をする時は時間に余裕ができ、心は落ちついていました！余談ですが、なぜ立つ時に、右足から先にヒザを立てるかという、昔、武士は左腰に刀を差していたため、左から立つと刀を抜く時に自分の足も切ってしまうからという理由なのだそうです。

最後に、向井先生に強くなる指導方法、心掛けていることを尋ねてみました。

「私は特別なことはしていません。まずは子供たちに柔道の楽しさを知ってもらうことが一番だと考えています。そして私がこれまでにやってきた柔道スタイルを教えるのではなく、子供たち一人ひとりにあった柔道を見つけさせるお手伝いをしているだけです。とくに講道館は勝利至上主義の競技柔道ではなく、正しく組んで『一本』を取る柔道を目指しています」と答えてくれました。

ぜひ、他道場に所属している皆様も練習に一度参加してみたいかがでしょうか。ちなみに講道館の練習は、基本的には誰でも参加が可能です。現役で活躍している、オリンピックや世界選手権の日本代表選手による指導もある夏期講習や寒稽古など、さまざまなイベントもありますので、気になった方はまずは講道館ホームページをご覧ください。

◇基本情報

指導者 少年指導責任者
向井幹博先生
所在地 東京都文京区春日1丁目16-30
最寄駅 大江戸線、三田線「春日駅」徒歩1分
丸の内線「後楽園駅」徒歩3分

◇稽古日

(PM4:30～7:15 ～2人体制を原則とする)
＊向井先生を中心として少年部指導員で指導にあたる。

月曜日：向井先生・橋本先生
16:30～19:15
火曜日：向井先生・新藤先生
16:30～19:15
水曜日：南保先生・向井先生(中学生担当)
16:30～19:15
木曜日：萩野先生・千品先生(向井先生)
16:30～19:15
金曜日：平先生・千品先生
16:30～19:15
土曜日：向井先生・田村先生
16:30～19:30

■令和2年度 少年柔道夏期講習会
日程：(予定)令和2年8月15日(土)
～8月17日(月)

■講道館HP：



新型コロナウイルス感染拡大に伴う 2020 年度大会の中止および延期に関する 特別措置について

新型コロナウイルスの感染が拡大し、日本全国の様々なイベントが中止を余儀なくされております。一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会といたしましても、すでに、4月12日に開催を予定しておりました『スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会』を延期とし、現在(3月25日)、日程・会場等の調整を行なっておりますが、今後、2020年度に開催を予定しております小学生柔道大会の中止および延期に關しまして、下記のような特別措置にて対応をさせていただくことにいたしましたので、ご報告申し上げます。

- 1) 大会エントリー期間内に中止または延期が決定(発表)した場合、参加費は返金します。
※主催者側はできるだけ速やかに開催の可否を決定し、発表いたします。

- 2) 返金方法としては定額小為替等を検討しております。
※延期、中止の発表後に随時対応していきます。

- 3) 大会エントリー期間後、やむを得ない理由で中止となった場合は参加費の返金は行ないません。

新型コロナウイルスの影響を受け、大好きな柔道の練習もできず、多くの皆さんが窮屈な日常生活を送っていらっしゃると思います。でも、こんな時だからこそ『精力善用』『自他共栄』の精神と『ひのまるキッズ六訓』の心を持って、毎日を過ごしてほしいと思います。

一日も早く新型コロナウイルスが終息し、スポーツひのまるキッズの大会で、笑顔いっぱいの皆さんに会えることを楽しみにしております。

一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会

柔道家

プレスレザー®

畳屋の職人

古賀稔彦 × 東洋紡 × 前田畳製作所 が作る柔道畳

三四郎

- ◎抗菌(トンスランス菌^{※1}の抑制も)
- ◎防カビ・防臭
- ◎フタル酸系可塑剤不使用^{※2}

※1. 強力な新型水虫菌。
※2. 生殖毒性が疑われる物質として日本、EU、米国では既成の対象になりつつあります。三四郎もその影響を考慮し使用していません。



前田畳製作所
maeda-tatami.com

全日本柔道連盟公認。使いやすく清潔で安全な柔道畳。

(本社) 〒652-0816 兵庫県神戸市兵庫区永沢町 3-8-8
(西宮店) 〒663-8035 西宮市北口町18-5
(工場) 〒673-1106 兵庫県三木市吉川町実楽 458

TEL 078-578-0172 FAX 078-578-0173
TEL 0798-31-2091 FAX 0798-64-3174
TEL 0794-73-0390 FAX 0794-73-0118

2020年度の スポーツひのまるキッズも 楽しさ盛りだくさん!

全国どこからでも、
どの大会でも参加可能!

※最新情報に関しては、
スポーツひのまるキッズホームページ
<http://www.hinomaru-kids.jp/> をご覧ください。

ひのまるキッズ

検索

東北大会(柔道)

2020年6月21日
青森県武道館

北信越大会(柔道)

2020年11月1日
アルビス小杉総合体育センター

中国・四国大会(柔道)

2020年12月13日
麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター

自転車わっしょい!

2020年11月
松山競輪場

月刊バスケットボールカップU-15

2020年5月3日～5日
ALSOKぐんま総合スポーツセンター

関東大会(柔道)

2020年4月12日
横須賀市総合体育会館

千葉県ソフトテニス親子大会

2020年12月13日
潮浜公園庭球場

神奈川県ソフトテニス親子大会

2020年10月11日
平塚市立軟式庭球場

九州大会(柔道)

2021年1月31日
春日市総合スポーツセンター

近畿大会(柔道)

2021年2月21日
丸善インテックアリーナ大阪

東海大会(柔道)

2020年9月13日
愛知県武道館

2020年度のスポーツひのまるキッズは、
柔道・バスケット・自転車・ソフトテニスの全11大会!
いろいろなことが学べて、
家族で楽しめる大会を目指し、
さらに前進します!

	大会名	開催日	開催県	開催場所(予定)
開催延期	第12回関東大会(柔道)	2020年4月12日(日)	神奈川県	横須賀市総合体育会館
開催延期	第5回月刊バスケットボールカップU-15	2020年5月3日(日・祝)～5日(火・祝)	群馬県	ALSOKぐんま総合スポーツセンター
	第11回東北大会(柔道)	2020年6月21日(日)	青森県	青森県武道館
	第12回東海大会(柔道)	2020年9月13日(日)	愛知県	愛知県武道館
	第4回神奈川県ソフトテニス親子大会	2020年10月11日(日)	神奈川県	平塚市立軟式庭球場
	第11回北信越大会(柔道)	2020年11月1日(日)	富山県	アルビス小杉総合体育センター
	第4回自転車わっしょい!	2020年11月	愛媛県	松山競輪場
	第2回千葉県ソフトテニス親子大会	2020年12月13日(日)	千葉県	潮浜公園庭球場
	第11回中国・四国大会(柔道)	2020年12月13日(日)	山口県	麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター
	第12回九州大会(柔道)	2021年1月31日(日)	福岡県	春日市総合スポーツセンター
	第11回近畿大会(柔道)	2021年2月21日(日)	大阪府	丸善インテックアリーナ大阪

※開催日・開催地は変更になる可能性があります。随時ホームページにてお知らせいたしますので、ご確認ください



山口県柔道協会会長

吉岡剛先生を偲ぶ

去る令和2(2020)年2月23日、全日本柔道連盟副会長で、山口県柔道協会会長の吉岡剛(よしおか・つよし)先生が急逝されました。63歳でした。

吉岡先生は、1984年のロサンゼルス五輪柔道男子無差別級で金メダルを獲得し、203連勝のまま現役を引退した日本オリンピック委員会(JOC)の山下泰裕会長を最後に破った選手。福岡・嘉穂高校から進学した中央大学時代の1977年に、全日本学生選手権大会で勝ちました。

山下会長とは嘉穂高時代から死闘を繰り広げ、団体戦では金鷲旗大会で2年生だった73年に準優勝し、74年は3位。73年は準決勝で熊本・九州学院高の1年生大将だった山下会長(2年秋に神奈川・東海大相模高へ転校)を破って決勝に進出しました。全国高校総体は73年、地元開催だった74年と嘉穂高の連覇に貢献しました。

12年前、スポーツひのまるキッズ中国大会を開催したいと奔走中に、突然お電話で、『お前は嫌われているけん、俺が守ってやる。徳山でやれ(笑)』と言っていただき開催。昨年12月に行なわれた10回記念大会では、史上最多の641組の親子の参加となりましたが、残念ながら大会会長としてのご参加は、体調不良のためありませんでした。

そして、亡くなる5日前、急にお電話をいただきました。最初のお言葉が『間違い電話たい。でも、どうや、話を聞いてやってもいいぞ…』。

その時は、母校の中央大学柔道部の話、さらには不吉な影で忍び寄ってきた新型コロナウイルスの話で1時間以上も相談にのっていただきました。まさか、それが今生のお別れとなるとは思ってもいませんでした。

中央大学柔道部の出来の悪い後輩の私を、最後まで心配してくださり、常々『とにかく、話をしなさい。お前がやっていることは素晴らしい、ただ、伝えることがヘタクソ。あきらめずに何度も話をして、やるべきことは粛々と進めればいい』と叱咤激励をしてくださいました。そして、これからの全日本柔道連盟、柔道界のことを最後まで心配されていました。

スポーツひのまるキッズ中国大会の『生みの親』。心より感謝申し上げ、吉岡先生のご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈りいたします。

合掌

一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会
代表理事 永瀬義規



1977年の全日本学生選手権大会 選手権の部決勝。山下泰裕選手に判定勝ちし優勝を果たした吉岡選手



スポーツひのまるキッズ中国大会の『生みの親』である吉岡先生。『ひのまるキッズ』の最高の理解者だった

「バスクリン」は、
あったかい湯気と
笑顔のそばで90年。

1930年(昭和5年)6月22日の発売以来、
これまで日本のお風呂とともに歩んできました。
これからも、みなさまご家族の笑顔を
お風呂でつなぎ続けます。



バスクリン
SINCE 1930

家族のぬくもりにありがとう



「バスクリン」90周年サイトを
ぜひご覧ください。



https://www.bathclin.co.jp/bathclin90th_anniversary

バスクリン ゆずの香り 【販売名】B C プレミアム A-Y 医薬部外品



CHISATO FUKUSHIMA
RYOTA YAMAGATA

SEIKO